

果的・効率的に実施できるよう、以下のよう努める。

<p>(15.10) (16.4) (16.12)          ・設備 1.70%→1.40%→1.70%          ・経営 1.55%→1.30%→1.40%</p> <p>償還期限については、平成9年度に住宅関連資金、12年度に漁業・商工関係資金、15年度に農林・商工関係資金の期限延長を実施してあり、利用しやすい案件であると考えている。漁業関係資金については、漁業関係資金、住宅新築資金があること、住宅新築資金が円と比べて引上げの余地が中程度であること、貸付利率の低下による影響等を考慮し、財務に与える影響等を考慮しながら検討していきたい。</p> <p>[業務実績報告書 P.70参照]</p>	<p>14年度から初期延滞対策（3ヶ月未満の延滞者に対する督促の強化）を重点的に行っており、その効果は徐々に現れてきている。また、貸付案件の審査・採択の適格性・客観性を高めるため、全ての案件について管理回収担当職員を適すように決裁ルートを改めた。</p> <p>(リスク管理権の占める割合)          (H13) (H14) (H15) (H16)          3.48%→3.45%→2.99%→2.46%</p> <p>[業務実績報告書 P.71参照]</p>	<p>期首時点では、3ヶ月未満の延滞者が35名、3ヶ月以上の延滞者が145名、期中における延滞者を含め、延滞の長期化を防ぐことに重点を置き、下記のとおり督促を行った。</p> <p>&lt;3ヶ月未満の延滞先&gt;          電話督促 679件          &lt;3ヶ月以上の延滞先&gt;          電話督促 471件          文書督促 363件          弁護士名文書督促 34件          実態調査 43件          氏事調停 5件</p> <p>これらの取り組みにより、期末では3ヶ月未満の延滞者39名、3ヶ月以上の延滞者125名、合計164名と期首比16名減少させることができた。</p> <p>[業務実績報告書 P.70参照]</p>
<p>・信用リスクの管理が的確に行われているか。保護措置という趣旨を踏まえた審査・採択の適格性が確保されているか。</p>	<p>A</p>	<p>A</p>
<p>・融資資金の確実な回収のための取組方法が適切か。</p>	<p>A</p>	<p>A</p>

<p>・個々の融資先において、保護措置の趣旨に通った効果が出ているか。</p>	<p>最近の設備投資の抑制傾向に変化はないもの、漁業に目を向けた。長期資金を必要とした。商工資金は、15年度が大幅に引き上げが浸透してきたものと推察している。</p> <p>〈事業に必要な資金〉</p> <table border="1"> <tr><td>・漁業資金</td><td>485百万円</td></tr> <tr><td>・農林資金</td><td>18百万円</td></tr> <tr><td>・商工資金</td><td>93百万円</td></tr> <tr><td>・法人資金</td><td>104百万円</td></tr> <tr><td>計</td><td>700百万円</td></tr> </table>	・漁業資金	485百万円	・農林資金	18百万円	・商工資金	93百万円	・法人資金	104百万円	計	700百万円	<p>A</p>		
・漁業資金	485百万円													
・農林資金	18百万円													
・商工資金	93百万円													
・法人資金	104百万円													
計	700百万円													
<p>生活関連資金についてはほぼ例年並みに推移した。住宅関連資金については、低利率のメリットが大きいことと恩恵的需要在依然大きいことと見られるが、計画を下回る結果となっている。</p> <p>〈生活に必要な資金〉</p> <table border="1"> <tr><td>・更生活資金</td><td>30百万円</td></tr> <tr><td>・生活資金</td><td>20百万円</td></tr> <tr><td>・修学資金</td><td>55百万円</td></tr> <tr><td>・住宅改良</td><td>78百万円</td></tr> <tr><td>・住宅新築</td><td>426百万円</td></tr> <tr><td>計</td><td>609百万円</td></tr> </table> <p>[業務実績報告書P.70参照]</p>	・更生活資金	30百万円	・生活資金	20百万円	・修学資金	55百万円	・住宅改良	78百万円	・住宅新築	426百万円	計	609百万円	<p>A</p>	<p>A</p>
・更生活資金	30百万円													
・生活資金	20百万円													
・修学資金	55百万円													
・住宅改良	78百万円													
・住宅新築	426百万円													
計	609百万円													
<p>・融資説明・相談会の実施状況</p> <p>(7) 融資説明・相談会の充実強化 融資内容・生前承継制度等の周知を図る以下の地区で開催する。 【開催場所】 根室市(2回)、浜中町、網走市、函館市、羅臼町、釧路市、帯広市、黒部市、旭川市</p>	<p>融資内容等の周知や要望等の聴取を目的とした融資説明会及び新規貸付・生前承継手続等について、個別対応を多くする融資相談会を対象者が多く居住する10地区での開催を計画したが、法対象者の要望により11地区で12回開催した。</p> <p>(昨年実績11回開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者数 522名</li> <li>・相談件数 128件</li> </ul> <p>[業務実績報告書P.68参照]</p>	<p>A</p>												
<p>・融資説明・相談会の結果を受け、元島民等のニーズ把握が十分行われたか。融資条件の改善等に取り組んでいるか。</p>	<p>《主な意見・要望》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連帯保証人の免除又は保証会社等への保証委託制度の導入</li> <li>・借入申込書や収入証明等の必要提出書類の簡略化</li> <li>・金融機関での受付事務の円滑化</li> <li>・更生資金、生活資金の利率引き下げ</li> <li>・借入資格の承継条件緩和</li> </ul>	<p>A</p>												



<p>(ウ) 生前承継の促進 平成8年に導入された融資資格の生前承継制度について、その内容、手続き等その利用を図り、その利用を促進する。</p>	<p>(ウ) 生前承継の促進 生前承継制度について周知徹底を図るため、協会の広報紙「札幌だより」や元島民等により構成される団体の会議、ホームベージ等を活用し、本制度の利用を促す。 (リ) 元島民等の適切な融資業務の運営を踏まえつつ、貸付、債権管理の趣旨を適切に行う。</p>	<p>・生前承継の実績</p>	<p>・生前承継の実績が十分か。</p>	<p>・生前資格承継の状況について [業務実績報告書 P.68～69参照] 制度の周知を図る活動や承継可能者への個別アプローチにより、昨年を上回る154名(前年比130.5%)の生前指定を受理した。 【参 考】 &lt;承継実績の推移&gt; 平成16年度 154名 平成15年度 118名 平成14年度 110名 平成8年度～現在 982名 &lt;被承継者の利用状況&gt; 借入実績あり 494名 借入実績なし 488名 &lt;生存者数&gt; 元居住者 8,251名 (専用漁業権者を除く) 旧漁業権者 384名 [業務実績報告書 P.69参照]</p>	<p>A</p>
<p>生前承継の促進 生前承継制度について周知徹底を図るため、協会の広報紙「札幌だより」や元島民等により構成される団体の会議、ホームベージ等を活用し、本制度の利用を促す。 (リ) 元島民等の適切な融資業務の運営を踏まえつつ、貸付、債権管理の趣旨を適切に行う。</p>	<p>・生前承継の実績が十分か。</p>	<p>・生前承継の実績が十分か。</p>	<p>・生前承継制度の周知徹底を図るため、協会広報紙「札幌だより」、ホームベージ(アクトセブ件343件)、千島連盟の広報紙「返せわれらが故郷」により対象者への周知を図った。また、融資業務説明会・相談会、場において、制度利用を促し、手続等について個別相談を受けた。更に、千島連盟の支部長・相談員等を対象とした研修会(参加者46名)を開催し、利用の促進を図った。 [業務実績報告書 P.69参照]</p>	<p>A</p>	<p>A</p>
<p>3. 予算(人件費の見積もりを含む。)、収支計画及び資金計画</p>	<p>・予算、収支計画及び資金計画どおり事業が執行されているか。執行状況と残高内容、当期損益と欠損状況は適正か。</p>	<p>・生前承継制度に濃い状況把握が行われているか。</p>	<p>・生前承継制度に濃い状況把握が行われているか。</p>	<p>A</p>	<p>A</p>
<p>3. 予算(人件費の見積もりを含む。)、収支計画及び資金計画</p>	<p>・予算、収支計画及び資金計画どおり事業が執行されているか。執行状況と残高内容、当期損益と欠損状況は適正か。</p>	<p>・生前承継制度に濃い状況把握が行われているか。</p>	<p>・生前承継制度に濃い状況把握が行われているか。</p>	<p>A</p>	<p>A</p>

<p>用分である。</p> <p>〔収支計画〕</p> <p>○費用の部        (計画と実績の差、約46百万円)        ・固定資産等の取得による資産の振替(資産振替) 約32百万円の減額        ・運営費交付金の未使用による約14百万円の減額        ・受託事業の発生による約88百万円の増額        ・固定資産の除却により発生した臨時損失約5百万円の増額</p> <p>○収益の部        (計画と実績の差、約44百万円)        ・資産振替、運営費交付金の未使用による運営費交付金収益化の減額(約46百万円)        ・受託収入の発生による約88百万円の増額        費用の部と収益の部の差、約2百万円の総損失は、老朽化した啓発広告塔、啓発パネル等の処分により生じたものである。(算入計画)</p> <p>実績において、15年度繰越金から16年度繰越金の増加額、約19百万円は、16年度の運営費交付金未使用額、未払金と預り金である。        (四捨五入の関係で、金額は必ずしも一致しない)</p> <p>〔貸付業務勘定〕        借入金抑制や借入利率の低下による金利負担の軽減、予備費等の未使用、収入面では貸付実行額の減少、貸付利率の低下により約8百万円が減収となった。        貸付業務勘定については、金収支差による不足分を補助金により、未使用分と収入減の差、約43百万円を精算し、在庫に返還することとした。        貸金面は、短期借入金200百万円、長期借入金を50百万円抑制した。        [業務実績報告書P73~77参照]</p>	<p>A</p> <p>A</p>
---	-------------------

・役員報酬等や職員の給与水準が業務等に見合うものであるか。

〔役員〕  
 勤務実績を踏まえ、規程どおりの俸給等を支払った。  
 〔職員〕

<p>4. 短期借入金の限度額 【一般業務勘定】 運営費交付金の出入に時間差が生じた場合、不測な事態が生じた場合等に充てるため、短期借入金を借り入れることとし、その限度額を年間5千万円とする。</p>	<p>4. 短期借入金 の発生状況</p>	<p>・短期借入金が発生しているか。発生している場合、その使途、金額、時期及び借入を行うに至る理由等が適正か。</p>	<p>国家公務員の一般職の職員の給与に関する法律に準じており、人事院勧告による給与の改正に準じている。 なお、国家公務員との給与水準(年額)の比較指標は、93.0である。</p>	<p>該当なし</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>該当なし</p>
<p>4. 短期借入金 の発生状況</p>	<p>・短期借入金が発生しているか。発生している場合、その使途、金額、時期及び借入を行うに至る理由等が適正か。</p>	<p>・短期借入金 の発生状況</p>	<p>・短期借入金として長期借入金により1,430百万円を調達する計画であったが、借入額を確定させて3月までのつなぎ資金として短期借入金を利用した。資金計画上1,380百万円の短期借入を予定していたが、資金繰りの状況に合わせ200百万円減額し1,180百万円の借入実績となった。</p>	<p>【借入実績】 6月 460百万円 11月 220百万円 12月 500百万円 【業務実績報告書P.78参照】</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>基金資産10億円(利付農林債7億円、定期預金3億円)を担保として以下の金融機関に差入れ額までの借入については預け入れ利率プラス0.5%という低利率による資金調達が行われている。なお、下記金融機関では担保入額以上の特典担保ではなく根担保としている。</p> <p>農林中央金庫 7億円 北洋銀行 2億円 北海道信濃連 1億円 【業務実績報告書P.78参照】</p>
<p>5. 重要な財産の処分等に関する計画 低利な資金調達を可能にするため、長期借入金、長期借入金、基金資産10億円を担保に供するものとする。</p>	<p>5. 重要な財産の処分等に関する計画 低利な資金調達を可能にするため、長期借入金、長期借入金、基金資産10億円を担保に供するものとする。</p>	<p>・担保提供状況</p>	<p>・担保の差し入れ先及び提供方法が適切か。</p>	<p>【借入実績】 6月 460百万円 11月 220百万円 12月 500百万円 【業務実績報告書P.78参照】</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>該当なし</p>
<p>5. 重要な財産の処分等に関する計画 低利な資金調達を可能にするため、長期借入金、長期借入金、基金資産10億円を担保に供するものとする。</p>	<p>5. 重要な財産の処分等に関する計画 低利な資金調達を可能にするため、長期借入金、長期借入金、基金資産10億円を担保に供するものとする。</p>	<p>・担保提供状況</p>	<p>・担保の差し入れ先及び提供方法が適切か。</p>	<p>【借入実績】 6月 460百万円 11月 220百万円 12月 500百万円 【業務実績報告書P.78参照】</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>該当なし</p>
<p>6. 剰余金の使途 剰余金は、根室地域における啓発施設「別海北方展望塔」「羅臼国後展望塔」の充実、又はホームページの拡充に係る経費に充てるものとする。</p>	<p>6. 剰余金の使途 剰余金は、根室地域における啓発施設「別海北方展望塔」「羅臼国後展望塔」の充実、又はホームページの拡充に係る経費に充てるものとする。</p>	<p>・剰余金の発生状況 ・剰余金の使途</p>	<p>・剰余金が発生しているか。発生している場合、その使途が適正か。</p>	<p>【借入実績】 6月 460百万円 11月 220百万円 12月 500百万円 【業務実績報告書P.78参照】</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>該当なし</p>
<p>6. 剰余金の使途 剰余金は、根室地域における啓発施設「別海北方展望塔」「羅臼国後展望塔」の充実、又はホームページの拡充に係る経費に充てるものとする。</p>	<p>6. 剰余金の使途 剰余金は、根室地域における啓発施設「別海北方展望塔」「羅臼国後展望塔」の充実、又はホームページの拡充に係る経費に充てるものとする。</p>	<p>・剰余金の発生状況 ・剰余金の使途</p>	<p>・剰余金が発生しているか。発生している場合、その使途が適正か。</p>	<p>【借入実績】 6月 460百万円 11月 220百万円 12月 500百万円 【業務実績報告書P.78参照】</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>該当なし</p>
<p>7. その他主務省令で定める業務運営に関する事</p>	<p>7. その他主務省令で定める業務運営に関する事</p>	<p>・剰余金の発生状況 ・剰余金の使途</p>	<p>・剰余金が発生しているか。発生している場合、その使途が適正か。</p>	<p>【借入実績】 6月 460百万円 11月 220百万円 12月 500百万円 【業務実績報告書P.78参照】</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>A</p>	<p>該当なし</p>

<p>に関する事項 施設及び設備に関する計画 該当なし</p>	<p>施設及び設備に関する計画 該当なし</p>	<p>組織体制の構築状況 ・ 常勤職員数の状況</p>	<p>目的に照らし、組織構成の検討状況が適切か。 ・ 目的に照らし、適正な人員配置が行われているか。</p>	<p>事業の充実、多様化に備え、柔軟で流動型（フラット）な組織を構築するための検討を行う。 ② 協会事業の効率的、効果的な業務遂行の観点から、勤定間の弾力化を図りつつ、職員の能力、適性、経験、習熟度等を考慮して、適正に人員を配置する。</p>	<p>事業の充実、多様化に備え、柔軟で流動型（フラット）な組織を構築するための検討を行う。 ② 協会事業の効率的、効果的な業務遂行の観点から、勤定間の弾力化を図りつつ、職員の能力、適性、経験、習熟度等を考慮して、適正に人員を配置する。</p>	<p>事業の充実、多様化に備え、柔軟で流動型（フラット）な組織を構築するための検討を行う。 ② 協会事業の効率的、効果的な業務遂行の観点から、勤定間の弾力化を図りつつ、職員の能力、適性、経験、習熟度等を考慮して、適正に人員を配置する。</p>	<p>事業の充実、多様化に備え、柔軟で流動型（フラット）な組織を構築するための検討を行う。 ② 協会事業の効率的、効果的な業務遂行の観点から、勤定間の弾力化を図りつつ、職員の能力、適性、経験、習熟度等を考慮して、適正に人員を配置する。</p>	<p>事業の充実、多様化に備え、柔軟で流動型（フラット）な組織を構築するための検討を行う。 ② 協会事業の効率的、効果的な業務遂行の観点から、勤定間の弾力化を図りつつ、職員の能力、適性、経験、習熟度等を考慮して、適正に人員を配置する。</p>	<p>事業の充実、多様化に備え、柔軟で流動型（フラット）な組織を構築するための検討を行う。 ② 協会事業の効率的、効果的な業務遂行の観点から、勤定間の弾力化を図りつつ、職員の能力、適性、経験、習熟度等を考慮して、適正に人員を配置する。</p>
<p>に関する事項 施設及び設備に関する計画 該当なし</p>	<p>施設及び設備に関する計画 該当なし</p>	<p>組織体制の構築状況 ・ 常勤職員数の状況</p>	<p>目的に照らし、組織構成の検討状況が適切か。 ・ 目的に照らし、適正な人員配置が行われているか。</p>	<p>事業の充実、多様化に備え、柔軟で流動型（フラット）な組織を構築するための検討を行う。 ② 協会事業の効率的、効果的な業務遂行の観点から、勤定間の弾力化を図りつつ、職員の能力、適性、経験、習熟度等を考慮して、適正に人員を配置する。</p>	<p>事業の充実、多様化に備え、柔軟で流動型（フラット）な組織を構築するための検討を行う。 ② 協会事業の効率的、効果的な業務遂行の観点から、勤定間の弾力化を図りつつ、職員の能力、適性、経験、習熟度等を考慮して、適正に人員を配置する。</p>	<p>事業の充実、多様化に備え、柔軟で流動型（フラット）な組織を構築するための検討を行う。 ② 協会事業の効率的、効果的な業務遂行の観点から、勤定間の弾力化を図りつつ、職員の能力、適性、経験、習熟度等を考慮して、適正に人員を配置する。</p>	<p>事業の充実、多様化に備え、柔軟で流動型（フラット）な組織を構築するための検討を行う。 ② 協会事業の効率的、効果的な業務遂行の観点から、勤定間の弾力化を図りつつ、職員の能力、適性、経験、習熟度等を考慮して、適正に人員を配置する。</p>	<p>事業の充実、多様化に備え、柔軟で流動型（フラット）な組織を構築するための検討を行う。 ② 協会事業の効率的、効果的な業務遂行の観点から、勤定間の弾力化を図りつつ、職員の能力、適性、経験、習熟度等を考慮して、適正に人員を配置する。</p>	